

長門市総合文化財センター

ヒストリアながと

かわら版

発行：令和5年11月

マンガで ひもとく 引揚げ展

ヒストリアながと × 平和祈念展示資料館

2023 9.1(金) - 12.10(日)



北見けんいち「引揚げ船上から見た日本は本当に美しかった」
(平和祈念展示資料館蔵)

昭和20年(1945)、第二次世界大戦が終わり、海外に取り残された人たちが、日本に帰国する「引揚げ」が始まりました。仙崎は、日本人が帰ってくる引揚げ港とされました。

本展では、人気マンガ家が子どものころに体験した「中国からの引揚げ」を描いた作品(平和祈念展示資料館所蔵)を紹介します。

【展示作品】※抜粋

赤塚不二夫「でっかいリュックを背負ってかあちゃんにしっかりとつかまって」
ちばてつや「引揚げ船は大きくてたくましく見えた」
森田拳次「8月15日をさかいに」

主催：長門市総合文化財センター(ヒストリアながと)
平和祈念展示資料館(総務省委託)

村田清風生誕240年記念

あの吉田松陰が

師と仰いだ村田清風



村田清風
(1783 ~ 1855)

長門市三隅沢江に生まれ、江戸時代後期に活躍した萩藩士。萩藩の財政立て直しに尽力した。

村田清風肖像(村田清風記念館蔵)

R5.10.11(水) ~ R5.11.12(日)

幕末の志士たちの指導者
吉田松陰の書状を公開!

江戸時代後期に活躍し、明治維新で活躍した志士に大きな影響を与えた吉田松陰。彼は、弘化2年(1845)、16歳のときに初めて村田清風旧宅を訪れ、清風の教えに触れます。

吉田松陰が師と仰いだ三隅出身の偉人・村田清風。清風と松陰の関わりについて、松陰が清風に充てた書簡(山口県指定有形文化財、松陰神社所蔵)などから考えます。

長門市くじら資料館開館30周年記念

ながとの捕鯨



2023年11月13日(月) - 2024年3月3日(日)

長門の捕鯨の歴史を語る…

早川家文書 (長門市指定有形文化財)

長門市で盛んに行われていた捕鯨。長門市では、現在でも、捕鯨の資料展示(鯨資料館)や学校給食での鯨料理提供などをおして、捕鯨文化を守る取り組みが行われています。

本企画では、江戸時代に通鯨組を組織し、代々網頭や浦方役人を務めた早川家に伝わる「早川家文書」(長門市指定有形文化財)を紹介します。

里帰り企画 R5.9.1(金)
おかえり! ~ R6.3.3(日)
雨乞台遺跡の石器たち

雨乞台遺跡のおしゃれ縄文人 古代のピアス

1万6千年以上前の旧石器時代に人々が住んでいた雨乞台遺跡(長門市日置)。本遺跡で採集された石器類の多くは、山陽小野田市歴史民俗資料館に収蔵されていますが、このたび約40年



球状耳飾り
(山陽小野田市歴史民俗資料館蔵)

ぶりに長門市に里帰りを果たしました。これらの石器には、市外産、県外産の石材が用いられています。1万年以上も前の時代に、人々が苦勞の末手に入れた石材で作った道具の数々をご覧ください。

ながとのお宝

西圓寺

(長門市大日比)

2023/10/11(水) -
2024/3/3(日)

近年発見! 『群書類従』

本慶山天龍院西圓寺は、青海島の大日比地区にある浄土宗の寺院です。

西圓寺では、近年、所蔵資料の調査が行われ、貴重な資料の存在が明らかとなりました。今回の展示では、尼庵の歴史のほか西圓寺の法蔵に収められていた典籍の中から、『群書類従』を紹介합니다。



尼僧の衣装(黒衣、鼠衣、笠)
(一般社団法人寺院情報学研究所蔵)



尼庵「法船庵」の表札
(一般社団法人寺院情報学研究所蔵)

長門市総合文化財センター

ヒストリアながと



長門市東深川 2660 番地 4 TEL 0837-22-3703 FAX 0837-22-3700
開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)
入館料 無料 休館日 月曜日 (祝日の場合は翌平日)

最新情報は
こちらから⇒



▲ Facebook



▲ Instagram



▲ Twitter



▲ HP